

ディアリオ・デ・セビージャ紙

透明人間: 田村陽子

“指ではなく、手首を動かすのだとマティルデ・コラルから教わりました”

日本政府の研修生としてセビージャにやってきた。東京で自身のアカデミーを開校、クリスティーナ・オヨス舞踊博物館にて日本国大使を招き、踊る予定。

【写真】

カラコル像とラ・ニニャ・デ・ロス・ペイネス像の間に立つ田村陽子。

クリスティーナ・オヨスから芸術家養女として迎え入れられる。田村陽子(1978年、東京生まれ)はフラメンコ研鑽の為、日本国政府の海外派遣研修生としてセビージャに滞在中。ビエナルの16公演分のチケットを入手。

- その研修制度は日本におけるフラメンコの重要性を証明しているものでしょうか？
- この制度は文化庁の研修制度になります。日本の若い芸術家に海外の芸術を学び、日本で紹介するよう促すものです。私ともう一人がセビージャに派遣され、又他の研修生はパリでクラシック・バレエを学びに派遣されています。全ての芸術、全ての音楽、例えばラテン音楽が対象になります。
- ビエナルは修士号みたいなものですか？
- 去年の10月にスペインに来て、今年の10月3日に帰国します。丁度ビエナルが終わる時期ですね。偶然です。
- 多くの公演を見る予定ですか？
- 4月にチケットを取りました。(手帳を確認)合計16公演見る予定です。9月14日はバダホスで踊りますのでビエナルには伺えません。
- ビエナルのイベントは体験しましたか？
- Flashmobに参加しました。大勢の人と路上でのビデオ撮影、プロモーションのための振付でした。そこでマティルデ・コラルに会いました。日本人舞踊手の田村陽子です、と自己紹介しました。私を見ると行進のレッスンをやってくれました。指を動かすのではなく、手首を動かすのだと。マエストラになるために生まれてきた方だと思いました。
- ビエナルの何が最も魅力的に感じますか？
- ファルキートの公演と、ダビ・ラゴスの公演がとても興味深いです。日本には上手な舞踊手、ギタリストは沢山いますが、歌い手は少ないです。言葉のせいでしょうか、感情を伝える難しさのせいでしょうか。日本には上手な歌い手が不足しています。
- この天職についたきっかけは？
- 父は警察官でサッカーもやっていました、母はOLでした。私は幼い頃から踊りが大好きで、どんなジャンルの踊りも踊っていました。クラシック・バレエ、ジャズダンス、ヒップホップを踊る陽気な女の子でした。ある日、テレビでスペイン国立バレエ団のコマーシャルが流れ、真っ赤な衣裳を身にまとった女性がぐるぐる回転していました。当時、スペイン舞踊もフラメンコも知らなかった私は母

にこの踊りを習いたい。と伝えると、偶然にも母の親友がフラメンコの先生だったのです。中井不二子が私の初めてのフラメンコの先生になったのです。

- その後は？

- その後はスペイン国立バレエ団のスターだったアントニオ・アロンソが東京に構えていたアカデミーで学び、そして後、小松原庸子のアカデミーで学びました。

- 同名の Yoko はフラメンコ界の巨匠たち全員を日本に連れて行っていますね

- 彼女からは多くを学びました。アントニオ・カナレスやクリージョ・デ・ボルムホス、マリベル・ガジヤルド、イサベル・バジョンなどの多くのマエストロのクルシージョも受講できました。

- オリンピックムードは見られますか？

- 東京では憧れと期待でいっぱいです。

- クリステイーナ・オヨスは 1992 年のバルセロナ五輪の際、開会式を踊りで飾りました...

- その様子をテレビで見ました。私は 2011 年にクリステイーナと知り合いました。旦那さまのファン・アントニオと一緒に私が最優秀賞を受賞したコンクールの審査員として来日していました。こちらではとても良くして貰っています、まるで両親のようです。

- 理論から実演に移行しましたか？

- 日本では私自身のアカデミーを開校し、30 人ぐらいの生徒がいます。クリステイーナ・オヨスの弟子にあたるヘスス・オルテガが私のパートナーを務めています。彼と一緒に“絆”と言うスペインと日本を結ぶ絆を物語る作品を創作し日本で上演、国内各地を回りました。9 月 7 日にクリステイーナ・オヨス舞踊博物館でも上演し、日本国特命全権大使閣下もご招待しています。そして 14 日はバダホスで上演します。

- 今回の研修は実り多いものでしたか？

- フラメンコが学校からだけでなく、命から、普段の生活から、街路から生まれるのだと学びました。自分の生徒たちにもそう教えています。技術だけでなく、心で感じ、体の中のものを表現するのだと。

- フラメンコの種は誰が運んで行ったのでしょうか？マルコ・ポロ？イエズス会？

- ピラール・ロペス舞踊団だと言われています。

- 他に趣味はありますか？

- ゴルフですね、夫と同じように

- ベティスが日本人プレーヤーを獲得した事をご存知ですか？

- 乾ですね、勿論です。面識はないですが、ワールドカップのベルギー戦で得点を決めた時は飛び上がりました。

- 何故日本の映画界はフラメンコを今村監督や黒沢監督の繊細さで取り上げなかったのでしょうか？

- 日本にはカルロス・サウラ監督が居ないのです。

- 踊り以外何をしましたか？

- 日本では時間が無さ過ぎて出来なかった事をしました。週末になると、ラ・アンティージャ、イスラ・クリスティナ、ネルハ、ラ・ビクトリアなど、ビーチに行きました。

- クリスティーナ・オヨスが私たちがフェリアで紹介しましたね。セビジャーナスは踊りますか？

- 初めての先生、母の親友に教わりました。セビジャーナスもマンサニージャも好きです。

---- メモ帳 ----

博物館と闘牛場でフラメンコ。9月7日はフラメンコ漬けの一日になります。正午にはヘスス・オルテガと共にクリスティーナ・オヨス舞踊博物館で作品“絆”を上演し、夜はマエストランサ劇場でイスラエル・ガルバンの公演を見に行きます。

同胞の坂本龍一は好きな音楽家の一人です。彼は'92バルセロナ五輪でメレンゲを演奏していた日本人グループ、オルケスタ・ラス・ヌベスに出演しました。

コリア・デル・リオへ文化の旅がペンディングになっています。コリア・デル・リオに行かず、研修を終わらせたくないです。昔の侍がこの地へやってきた話、二つの文化の絆、ハポンを苗字に持つコリア人の多さ、色んな話を聞いています。